

新型コロナウイルス感染防止マニュアル

1. 基本方針

スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン（令和 2 年 5 月 14 日 公益財団法人日本スポーツ協会 公益財団法人日本障害者スポーツ協会）及び、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため行っていただきたい取組，（スポーツイベント等）に基づき，運営側と参加者が一体となって，でき得る限りの感染防止対策を施し，安全に大会を進行する。なお，本マニュアルは大会実施後，実態に合わせて随時改訂するものとする。

2. 募集・申し込み

感染拡大の防止のために参加者は以下の事項を遵守すること。なお，これを遵守できない参加者には，他の参加者の安全を確保する等の観点から参加の取り消し，又は途中退場とする。

(1) 以下の事項に該当する場合は，自主的に参加を見合わせることを。

- ① 体調がよくない場合（例：発熱(37.5 度以上)・咳・咽頭痛などの症状はある場合）
- ② 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ③ 過去 14 日以内に政府から入国制限，入国後の観察期間を必要とされている国，地域等への渡航又は当該従事者との濃厚接触がある場合
- ④ **選手、またはその同居人の中に学級閉鎖等で自宅待機者がいる場合、その選手は参加出来ない。**

(2) **参加者は不織布マスクを持参し着用すること。**

(3) こまめな手洗い，アルコール等による手指消毒を実施すること。

(4) 他の参加者，主催者スタッフ等との距離（2メートル以上（最低1メートル）を確保すること。（障害者の誘導や解除を行う場合は除く）

(5) 大きな声で会話，応援等をしないこと。

(6) 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守，主催者の指示に従うこと。

(7) **大会終了後 1 週間以内**に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は，主催者に対して速やかに大会参加時の濃厚接触者の有無（有の場合はチーム・名前）等について報告すること。

3. 開場・受付

主催者は，大会当日の開場・受付時に参加者が密になることへの防止や，安全に大会を開催・実施するため，以下に配慮して開場・受付事務を行う。

(1) 受付窓口には，手指消毒剤を設置すること。

(2) 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場，受付手続きをしない。

(3) 受付を行うスタッフには，不織布マスクを着用させること。

(4) 大会参加者は，会場入り口にて体温測定，手指消毒，上靴裏消毒を行い入場すること。

(2 列になり間隔を開けて並ぶこと。)なお，手指消毒の際アルコールにアレルギーを示す参加者は，個人所有の代替薬を使用することとする。

(5) 大会参加者は，バイタルチェック表を受付時提出すること。

原則バイタルチェック表に氏名の無い方の入場は不可とする。

① 大会当日の体温，体調

② 大会前 3 日間におけるバイタルチェック表の事項の有無（有に○の有る方は入場出来ません）

(6) ネームプレート

受付時ネームプレートを配布致しますので着用をお願い致します。

コロナ感染防止のためネームプレートの無い方は、入場出来ません。

4. 換気

換気の悪い密閉空間とならないよう、換気設備を適切に運転する、定期的に窓・扉を開け外気を取り入れる等の換気を行う。なお、屋外へ直結する非常口を開放する場合は、非常時を除き出入りしないこと。

5. 観客席

大会参加者・観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席の数を減らすなどの対応をとる場合がある。また、応援する場合は他の応援者と距離（2メートル以上（最低1メートル））を確保すること、**声援を送らないことや声を出さないこと。**

応援席は観覧席最前列1列とする。

6. 送迎等に係わるチーム関係者

主催者は大会参加者の人数・健康状態をバイタルチェック表にて把握し入場規制しているため、大会中の送迎等に係わるチーム関係者の入場は出来ない。各チームにて責任を持って人数、健康状態を管理及び把握すること。

7. 監督会議

「密」を避けるため間隔（2メートル以上（最低1メートル））を確保すること。

8. 選手

① **選手はプレイ中以外不織布マスク着用。**

② プレイ以外の不要な接触は避ける（円陣、ハイタッチなど）

③ 試合中、飛沫予防のため大声での声掛けは避ける。

④ 試合前及び試合終了後の手指消毒（手洗い）・うがいの徹底

⑤ 選手待機場所では、不織布マスクを着用し選手間距離（2メートル以上（最低1メートル））を確保すること

9. チーム役員

① 常時不織布マスク着用

② **試合中の声での指示禁止（飛沫防止）**

③ ミーティング等は極力手短に。

④ 試合終了後、ベンチ（座席）を消毒する。

⑤ 試合終了後スコアカードに持参したペンでサインする。

10. 審判員

- ① 当日朝、運営審判員用バイタルチェック表に体温等を記載。
- ② 不織布マスク、バフ着用やフェイスシールド着用等(フェイスシールドのみは不可)による飛沫拡散抑制を図る。
- ③ 手指消毒の徹底。
- ④ 旗の消毒の徹底。
- ⑤ ボールの消毒の徹底。
- ⑥ 控室は原則荷物を置くのみ。
- ⑦ 昼食は時間を区切り分散させる。
- ⑧ 審判ミーティングはコート内で実施。
- ⑨ 試合中は、新型コロナウイルス感染拡大対策用審判手順マニュアルに沿って行う。
- ⑩ 6審及びオフィシャル以外はコート外で待機。試合終了時にコート内へ移動。
- ⑪ 審判員は、午後の試合開始前に体温測定を行う。
- ⑫ 大会中開催中に体調に変化を感じた際は(コロナとは関係なく)速やかにコートリーダー若しくは大会本部に申し出ること。

11. 競技

- ① 試合開始、終了時の整列はセンターラインより1m離れ、声を出さずに礼のみとする。
- ② コート内、外での円陣など不要な接触を避ける。
- ③ ボールは、毎試合消毒したものを使用する。
- ④ 試合終了後の選手の入替は一方通行。
- ⑤ 予選全試合終了後、コートにモップをかける。

12. その他

- ① 試合前後、通路でのミーティングは行わない。
- ② 試合中、指導者、及びベンチ入り選手は**不織布マスク**を着用する。
- ③ ベンチ(座席)は間隔を空け配置する。ベンチ入り選手は間隔を空けてベンチ脇に立つ。
- ④ 指導者及び選手は、午後の試合開始前に体温測定を行う。
- ⑤ タオル、水筒等は個人用の収容袋等で管理し他の者は触れないように対策を行う。
- ⑥ 新型コロナウイルス感染予防に必要な物品は各自用意すること
- ⑦ 鼻水、唾液などが付いたゴミは、ビニール袋等で密閉し各自持ち帰り処分すること。
- ⑧ **予選終了時、トーナメントに進出できなかったチームは、御帰宅頂いて構いません。**

以上

第1版 令和2年12月7日

第2版 令和3年5月14日

第3版 令和4年2月5日

第4版 令和4年5月20日